

仙台塩釜港（高砂コンテナターミナル）への荷役機械無償提供について（報告）

関門港運協会では、災害発生当初から義捐金を募るなどの支援活動とともに、被災した東北地区の同業者の支援を申し出ておりました。

コンテナターミナルの早期再開に向けて、被災した荷役機械の代替機を探している東北港運協会の要請を受けた関門港運協会が、日本港運協会と北九州市の支援により荷役機械の無償提供が決定したものです。

「がんばろう！東北」と書かれた横断幕をつけたストラドルキャリアは、ガントリークレーンに吊り上げられて貨物船に積み込まれ、8月29日に出港しました。台風12号の影響で遅れもありましたが、9月6日に無事到着しました。

記

1 提供する荷役機械について

名 称	ストラドルキャリア（1台） コンテナ3段積対応
全 長	16.2m
幅	4.4m
高さ	10.1m
重 量	42.5トン
予備品	ホイール付予備タイヤ
所有者	関門コンテナターミナル株式会社
提供先	三陸運輸株式会社



2 関門港運協会の震災対応

関門港運協会（会長 青山 正裕／株式会社ジェネック代表取締役社長）は、門司港を中心に港湾運送事業を営む29社が加盟する九州地区最大の業界団体です。今回ストラドルキャリアを提供する「関門コンテナターミナル株式会社」は太刀浦コンテナターミナルの作業を効率的に行うために関門港運協会の中核となる9社が出資した会社で、28台のストラドルキャリアを保有しています。

また、関門港運協会では、震災対応として自動車メーカーが7月からの3ヶ月、休日を木・金曜日に振り換えたことから、日本自動車工業会の要請を受け、土・日曜日の太刀浦コンテナターミナルのゲートオープンを7月から実施しています。

3 輸送日程

1) 北九州港出発（内航船で輸送）

①日 時 平成23年8月29日（月）9時30分から積込み作業は30分程度
9時30分 船積み作業開始、12時 出港

②場 所 太刀浦コンテナターミナル第1コンテナヤード

③参加者 ①関門港運協会 青山会長（ジェネック社長）、野畑社長（門司港運）
掛江社長（門菱港運）など約60名

②北九州市港湾空港局 中富相談役、金川港営部長など5名

2) 仙台塩釜港到着 平成23年9月6日（火）

3) 使用船舶

①船 名 「第十一朝日丸」

②船舶明細 全長76.5m、総トン数498トン

③運航会社 双栄海運株式会社

4 実施写真

